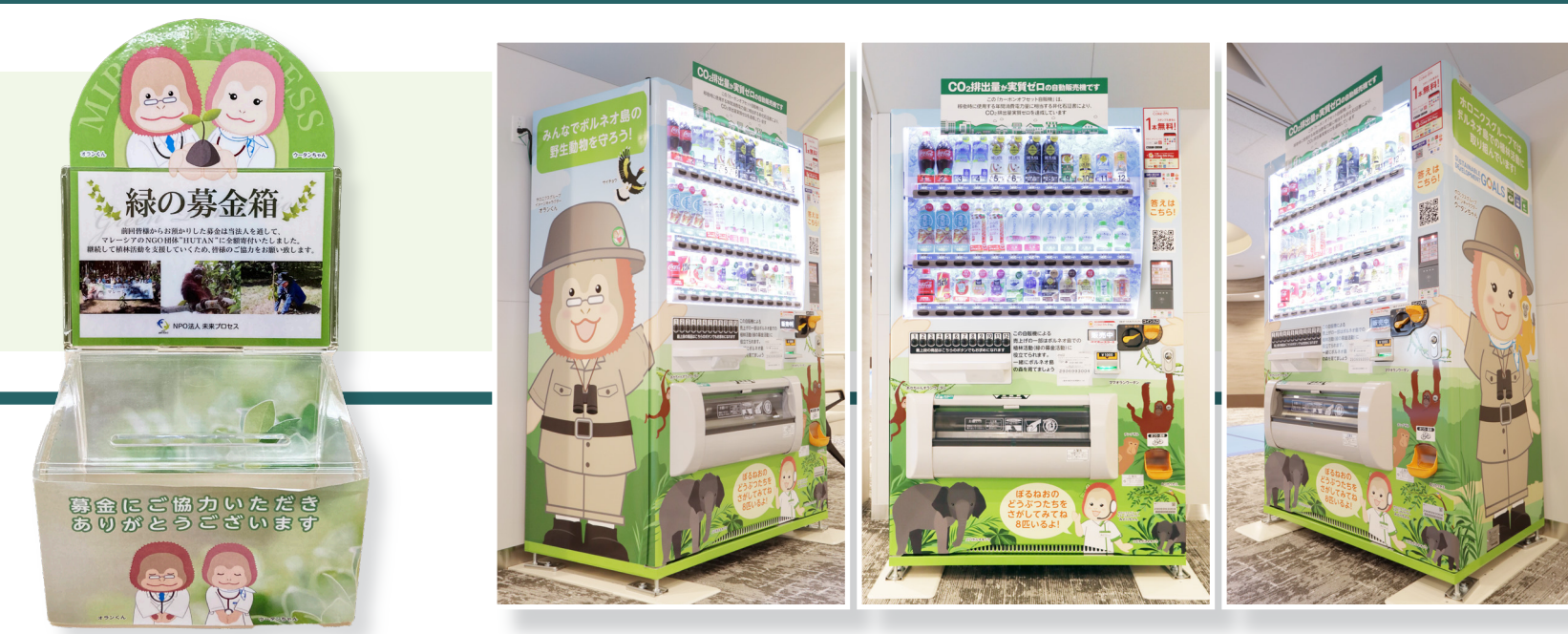


## 支援活動を続けよう！「緑の募金箱」「緑の自販機」

森林再生は年月のかかる地道な活動です。継続的な支援が必要です。



## 「緑の募金箱」寄付でNGO HUTANができたこと！Q&amp;A

## Question.1

私たちのこの寄付は、

- ① どのように役立ちますか？
- ② 何本の木を育てられますか？
- ③ 何年間、何人のスタッフが植林に従事できますか？

## Answer

- ① 苗の購入、女性スタッフの給与、植林場所での作業コスト
- ② 総額700万円の寄付で15,910本の苗木を育てられます
- ③ パートタイムで植林に従事する女性3~4人分の7年の給与に相当します

## Question.2

- ① オランウータンの個体数変化はありましたか？
- ② 他の希少動物の個体数は維持されていますか？

## Answer

- ① 2015年実施の調査で、約750頭のオランウータンが見つかりました  
現在、最新の調査準備をしており、その数の増減がまもなく確認できます
- ② 再生地で確認された哺乳類、鳥類、両生類の種類は毎年増えています

## Question.3

- ① 私たちが植林した小さな木々は成長していますか？
- ② 森が再生するにはどれくらいの年月がかかりますか？

## Answer

- ① NPO未来プロセスが2018年から植林した木はとて大きくなり動物の食事となる実をつけました
- ② 森の再生には何十年もかかりますが、再生地は密林や伐採などの違法行為から守られており、野生生物にとって大変安心できる居場所となっています

## 多様性の共存に取り組むパーム油企業を応援しよう！

ボルネオ島サバ州のパーム油生産企業ムランキンオイルパームプランテーションは「パーム油産業と動植物の多様性の保全と共存」をめざす企業です。植物や昆虫を利用した農薬の減量や農園内の緑の回廊プロジェクトなど、全ての取り組みを調査したデータに基づいて実施しています。キナバタンガン川への農薬流出の水質調査や農園内に入る野生動物のモニタリングなど環境への影響を監視しパーム油生産を行っています。



## パーム油とその生産地

パーム油はアブラヤシから採れる植物油です。果肉からパーム原油、種からパーム核油が採取されます。アブラヤシは高温多湿の熱帯地域で育つ植物です。原産国は西アフリカや中南米ですが、1960年代以降はマレーシアで、1980年代にはインドネシアでプランテーションによる栽培が盛んになりました。現在、パーム油の80%以上はマレーシアとインドネシアで産出されています。

## パーム油の環境問題

パーム油は地球規模の環境問題に直結する植物油でもあります。1960年以降に農園の開拓が始まり、わずか50年ほどで40%もの面積の森が消失しました。熱帯雨林を追われた希少野生動物は、絶滅の危機に瀕しています。本来の生息地が狭まってしまったボルネオゾウやオランウータンが農園に入り込み、害獣として捕獲・殺傷されてしまうことも頻繁に起きています。

## SDGs12 つくる責任 つかう責任 消費する私たちも意識を向上させましょう！

熱帯林減少の原因の多くが生産と消費にあるのであれば、企業が環境問題を生産課題の一つとして積極的に効果的に取り組むこと、また、消費する私たちの視点の中に環境配慮という点を加えることが必要です。安全安心の認証に加え、環境と人権へ配慮した商品にも認証マークが付与されるようになった今、それらを目印に商品を選択することも賢い消費の第一歩です。SDGsの目標である「つくる責任 つかう責任」に貢献することで世界の豊かな森林を守りましょう。

12

つくる責任  
つかう責任

アンケートフォーム

